

＝ 思いを一にする仲間とともに ＝

みなさん、ご安全に。

基幹労連は、9月7日～8日にかけて開催した第15回定期大会で第9期2年間の運動方針を確認するとともに、役員改選によって新たな体制で運動を展開することとなりました。どうぞよろしく願いいたします。

第9期は、第24回政策実現活動の総括を受け、また産業・労働政策中期ビジョン改訂版を踏まえ、あらためて働く仲間の安全と健康を基軸としながら、雇用と生活の安心・安定をめざしていくために、それぞれの組織の役割と責任を再度見つめ直し、実行力を発揮していくリスタートの期と位置づけました。

具体的な取り組みに向けては、加盟組合と、その構成組織、県本部・県センターをはじめ、組合員の皆さんとの心合わせの重要性を再認識し、実効あるFace to face活動を行うこととしました。

その一環として、この9月より、毎月、時に可笑しく、時に真面目に私見を交えながら委員長メッセージを発信していこうと決意したところです。

しかし、残念なことに、その最初のメッセージは、その思いとはかけ離れた腹立たしさを書かざるを得なくなりました。

本日の第194回臨時国会冒頭において、衆議院の解散が図られました。足もとでは、北朝鮮のミサイル・核開発等の緊迫した世界情勢への対応をはじめ、国内では、働き方改革などの重要法案を審議しなければならない中での解散であり、民意を無視し、働くものを視野にも入れない、現政権の自己保身的な姿が浮き彫りとなりました。

私たち基幹労連は、職場の活力発揮が産業・企業の発展につながるとの信念のもとで、個別労使における取り組みを通じた「内の好循環」を回し、社会保障と税の一体改革、子育てや介護問題等への対応など将来不安の払拭、さらには、ものづくり産業がわが国の屋台骨であるとの自負を持ち、資源・エネルギー問題や地球環境・温暖化対策、加えて東日本大震災をはじめとする自然災害の対応など、基幹労連の政策実現に積極的に取り組んできました。それらは常に人を真ん中に据えた好循環の追求でもあります。

「大義なき、究極の自己保身」によって衆議院解散総選挙という賽を投げられた今、怒り嘆くより、私たちは整齐と事にあたっていかなければなりません。中央本部は、9月19日に開催した第2回中央執行委員会において「第48回政策実現推進本部」を設置しました。

私たち基幹労連は、引き続き、雇用と生活の安心・安定を確立していくために、この暴挙に屈することなく、基幹労連国政フォーラム議員をはじめ、思いを一にする仲間とともに決戦の場に臨むこととします。

しかしながら本日、民進党は希望の党と合同し、今次衆議院総選挙に臨むことを、解散後に開催した衆参両院議員総会で決定しました。今後、取り組み内容等をどのように整理していくか等に関しては、連合の方針が確定次第、速やかに中央本部としての見解を示していきます。

なお、高木義明衆議院議員(国政フォーラム代表)は、今期をもって勇退されることになりました。今日まで、永きにわたってのご奮闘に心より敬意を表し、感謝申し上げます。

今後も引き続き、基幹労連の政策実現に向け、中央本部はもとより、全ての加盟組合・構成組織、県本部・県センター、26万組合員の総力を挙げ、一丸となって立ち向かいましょう。

ご安全に

2017年9月28日

日本基幹産業労働組合連合会

中央執行委員長 神田 健一